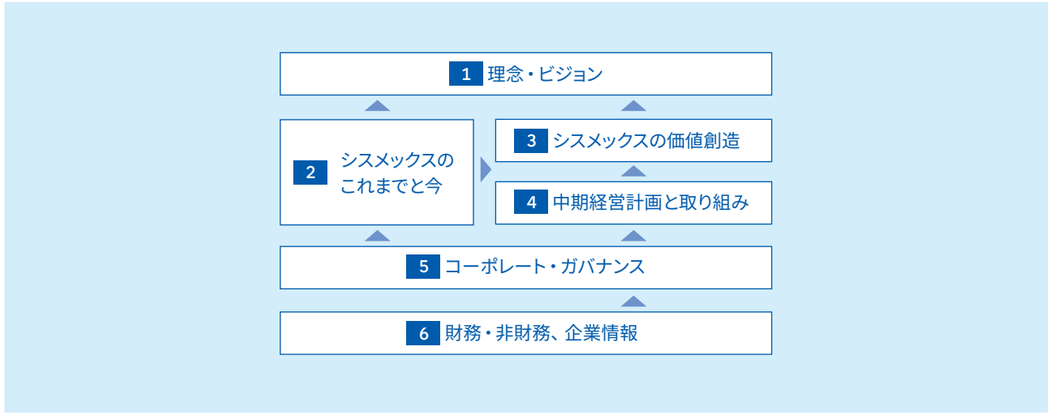
目次



1 理念・ビジョン

03 グループ企業理念
05 **シスメックスが目指すもの**
Together for a better healthcare journey
11 グループCEOメッセージ

As-Is：2 シスメックスのこれまでと今

14 2024年度ハイライト
15 **これまでの成長要因**
15 ❶ ヘルスケアニーズの先取り
17 ❷ 進化サイクルの確立
19 ❸ 安定的な収益モデル
21 ❹ 市場の成長と分野の展開
23 スナップショット（シスメックスの経営資源）

To-Be：3 シスメックスの価値創造

26 社長メッセージ
31 価値創造ストーリー
33 長期経営戦略
37 マテリアリティ（優先する重要課題）
39 基本戦略
41 ヘルスケア領域における提供価値

4 中期経営計画と取り組み

44 これまでの経営計画
45 中期経営計画の概要
47 中期経営計画の目標
49 マテリアリティと戦略・指標の整理
51 **3つの成長戦略**
51 ❶ 既存事業の強化
54 ❷ 新興国での事業拡大
56 ❸ 新規事業の拡大
57 **企業基盤（経営資源）の強化**
57 研究開発力の強化
59 知的財産活動の強化
60 さらなる成長に向けたDX
61 調達・生産・物流体制の拡充
62 販売・サービス&サポート、薬事体制の強化
63 循環型バリューチェーンの実現（環境負荷低減）
65 人的資本の強化
69 財務担当役員メッセージ
73 パフォーマンスハイライト

5 コーポレート・ガバナンス

80 社外取締役対談
83 コーポレート・ガバナンス
89 リスクマネジメント
91 取締役
95 執行役員

6 財務・非財務情報

97 連結財務関連データ（10年度）
99 連結財務諸表
103 サステナビリティ目標の進捗状況（抜粋）

企業情報 ◀◀◀ シスメックスの基本情報

105 シスメックスの事業
108 主な製品・サービス
111 ステークホルダーエンゲージメント
112 用語集
113 株式情報
114 会社情報

編集方針

「シスメックスレポート」は、ステークホルダーの皆さまにシスメックスの中長期的な価値創造についてご理解いただきたいという想いから、財務・非財務情報を簡潔にまとめた「統合報告書」として作成しています。2025年度は、「シスメックスが目指すもの」並びに「ヘルスケア領域における提供価値」において、私たちが社会にどのような価値提供を目指しているのかを明示しました。また、「シスメックスのこれまでと今」セクションにおいて、検体検査領域におけるこれまでの成長要因を改めて振り返るとともに、3つの成長戦略の内容も拡充しました。より詳細な情報はWebサイトやサステナビリティデータブックに記載しています。なお、編集においては、国際会計基準（IFRS）財団「国際統合報告フレームワーク」および経済産業省「価値協創ガイダンス2.0」などを参照しています。

Environment Social Governance
価値協創ガイダンス

サステナビリティデータブック

対象組織

原則としてシスメックスグループ（国内・海外グループ会社を含む）を対象としています。本レポート中の「シスメックス」はシスメックスグループを、「シスメックス株式会社」はシスメックス株式会社単体を指します。

対象期間

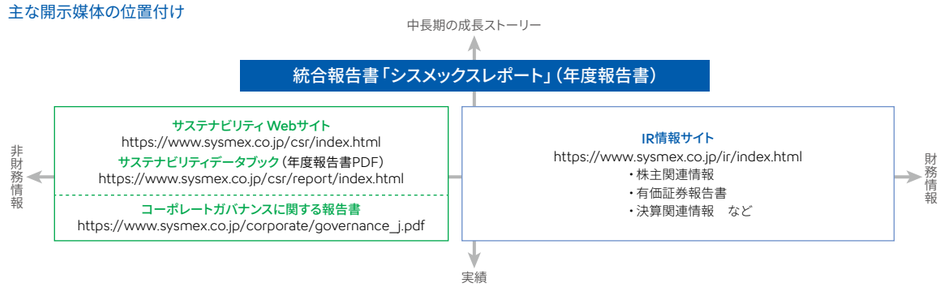
2024年度（2024年4月1日～2025年3月31日）を対象期間としていますが、一部、2025年4月以降の活動内容を含みます。

会計基準・会計方針

当グループは、2016年度より国際会計基準（IFRS）を任意適用しています。本レポートにおける財務数値は、2014年度以前は日本基準に、2015年度以降はIFRSに準拠して表示しています。

2022年3月期に、クラウド・コンピューティング契約におけるコンフィギュレーションまたはカスタマイゼーションのコストについて、サービスを受領した時にそのコストを費用として認識する方法に変更しており、2021年3月期の数値についても遡及適用しています。

主な開示媒体の位置付け



見通しに関する注意事項

本レポートに記載されているシスメックスの将来の戦略・計画・業績などは、現在入手可能な情報に基づくものであり、リスクや不確定な要素を含んでいます。これらの見通しと実際の業績が大きく異なる可能性があります。

第三者保証

開示しているデータの信頼性を向上させるため、環境・社会データについて第三者保証を取得しています。

≫Webサイト＞サステナビリティデータブック2025＞第三者保証

グループ企業理念

「ステークホルダーの皆さまへ確かな“安心”をお届けする」
――創業以来変わらぬシスメックスの想い――

創業者の中谷太郎は、お客様、取引先、従業員へ「安心」をお届けすることを、「三つの安心」として経営の軸に定めました。その想いを大切に、私たちはステークホルダーの皆さまを常に意識した経営・行動を続けてきました。

そして2007年、シスメックスはこの創業以来変わらぬ想いを継承し、発展させたグループ企業理念「Sysmex Way」を制定しました。「Sysmex Way」は、私たちが社会に貢献し、成長し続けるための考え方や進むべき方向性、価値観を明示しています。さらにShared Values※では、「三つの安心」で示されたお客様・取引先・従業員に加え、株主様と社会というステークホルダーに対しても「安心」を提供していくことを宣言しています。

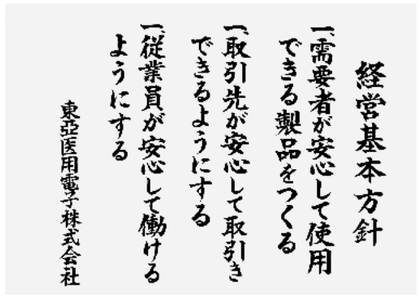
創業の意志

創業者 中谷 太郎

創業者の中谷太郎は、「われわれが生み出す製品の提供により、社会課題の解決に貢献するとともに、われわれ自身の生活を豊かにする」ことを企業目的に掲げ、創業理念「三つの安心」を定めました。

「三つの安心」とは

お客様 への安心	取引先 への安心	従業員 への安心



経営理念「三つの安心」

Sysmex Way

Mission
ヘルスケアの進化をデザインする。

Value
私たちは、独創性あふれる新しい価値の創造と、
人々への安心を追求し続けます。

Mind
私たちは、情熱としなやかさをもって、
自らの強みと最高のチームワークを発揮します。

Shared Values

お客様に対して
常にお客様の視点で行動し、確かな品質ときめ細やかなサポートにより、お客様に安心を届けます。
常にお客様が真に求めるものが何かを追求し、お客様の期待を超える新しい価値を提案します。

従業員に対して
多様性を受け入れ、一人ひとりの人格や個性を大切にすると共に、安心して能力が発揮できる職場環境を整えます。
自主性とチャレンジ精神を尊重し、自己実現と成長の機会、成果に応じた公正な処遇を提供します。

取引先に対して
公平・公正を基本とした幅広い取引により、取引先の皆様に安心を届けます。
相互の信頼関係と研鑽により、取引先の皆様と共に発展する企業をめざします。

株主様に対して
経営の健全性と透明性を高め、積極的な情報開示とコミュニケーションで、株主の皆様に安心を届けます。
堅実かつ革新的な経営を推進し、持続的な成長と株主価値の向上に努めます。

社会に対して
法令遵守はもとより、常に高い倫理観にもとづいた事業活動を推進し、社会の全ての皆様に安心を届けます。
環境問題をはじめ地球や社会が抱える様々な問題の解決に、社会と共に取り組みます。

安心（*anshin*）は、シスメックスの企業理念の根幹にある言葉であり、当社が創業以来追求してきた本質的な価値として、以下のような意味を持ちます。

- お客様が使用する当社の製品やサービスについて、**安全性、品質等に不安がない状態**
- ステークホルダーが、当社との関係、取引、対話等において**信用・信頼でき不安がない状態**
- 人々が、自分自身の健康、生活などに**不安がなく、心が落ち着いている状態**

※ 各ステークホルダーへの提供価値であることをより明確に伝えるため、2023年度から「行動基準」を「Shared Values」に改めました。

より良いヘルスケアジャーニーを、ともに。

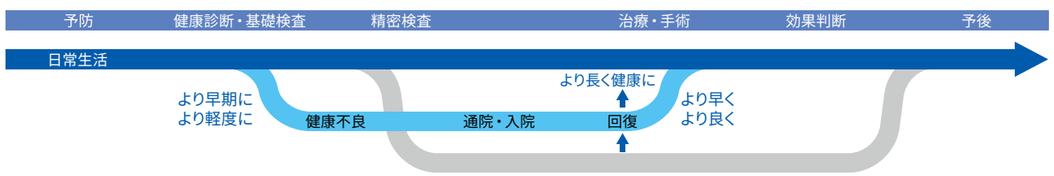
Together for a better healthcare journey

シスメックスは、予防から診断、治療、予後までの一人ひとりのヘルスケアの旅路：ヘルスケアジャーニー※をより良いものにすることで、豊かな健康社会の実現を目指しています。

シスメックスの長期ビジョンは「より良いヘルスケアジャーニーを、ともに。」です。ヘルスケアジャーニーとは、人が一生の中で経験するすべてのヘルスケアを旅路と捉えるものです。シスメックスはこの旅路をより良いものにすることで、一人ひとりが生涯にわたってより長く、健康を維持できる社会の実現を目指しています。例えば、健康な時は、病に向かう兆候を見逃すことなく、適切なケアで病気を未然に防ぐことができる社会。万一、病気になった際も、より早期に、より軽度な状態で発見し、それぞれの人に合わせた最適な医療で、より早く・より良い回復への道に導くことのできる社会を目指しています。

従来、シスメックスは検体検査領域、つまり基礎検査（健康診断など）、精密検査、効果判断という領域を中心に価値を提供してきました。今後、ヘルスケアジャーニーという観点で価値創造を捉えると、病気・治療の時だけではなく、世界の人一人ひとりに寄り添い、人生、健康、安心に貢献していくことが重要です。私たちはその実現に向け、検体検査領域に加えて、予防医療や治療領域へも価値創造の対象を広げ、さまざまなステークホルダーと協創し未来を切り開いていきます。

≫ヘルスケア領域における価値提供 P41



※ヘルスケアジャーニーは、グループ企業理念Sysmex Way、提供したい価値、そして実現したい社会から、長期ビジョンおよび価値創造のベースとして、シスメックスが定義した概念です。

より良いヘルスケアジャーニーに貢献する従業員

医療を持続可能なものにする検査機器の開発から、医療を止めないための検査機器の技術サービス、認知症の早期診断につながる血液検査の研究まで、社員一人ひとりが、それぞれの立場で抱く使命や想い、未来への決意を語ります。

https://www.youtube.com/playlist?list=PL3aWIHp35nE9fB8GjtUKEb6EWUVt_OJKq

医療格差の是正

「健康」は人類共通の願いです。しかし、世界を見渡せば、全人口の半数以上は十分な医療サービスを受けられていないという現実があります。医療インフラや医療従事者、教育機関が十分に整備された国は一部であり、多くの地域で基礎的な医療の普及が求められています。WHOでは、すべての人が適切な健康増進、予防、治療、機能回復に関するサービスを、支払い可能な費用で受けられることを目標に掲げています。

こうした中、シスメックスでは、医療の入り口であり、治療の前提となる「検査」を普及させることで、質の高い医療を享受できる社会を実現したいと考えています。世界のあらゆる地域に検査が広がり、いつでもどこでも正確な検査結果を得られる社会。そして、その検査結果が適切な治療につながる社会です。そのためには、検査に関する知識や技量も補完・支援することが必要です。これは、世界190以上の国や地域に販売・サービス網を整え、数多くの新興国市場の立ち上げを支えてきたシスメックスが果たすべき使命です。

現地の医療が途絶えることなく提供されるよう、シスメックスは、地域ニーズや医療課題に即した製品の開発・導入はもとより、品質管理や人材育成のサポートなどを進め、医療アクセスの向上、医療格差の是正に貢献していきます。

ユニバーサル・ヘルス・カバレッジサービス
普及指数（WHO）（2021年）※1

68

必要不可欠な保健医療サービスを十分に
受けられていない人（2021年）※1

約45億人
／約80億人

※1 出典：日本WHO協会 ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）

医療・検査室の生産性向上

世界的な人口増加、高齢化の進行、医療の高度化などを背景に、医療需要は拡大、内容も高度化・複雑化していますが、その担い手は不足しています。医療の入り口となる検査においてもその傾向は変わりません。米国の調査によると、検査需要は拡大傾向にありますが、検査技師の平均年齢は上昇しており、多くの検査室が人員不足に直面しています。例えば、大学病院では一日に数千件の検査が行われており、検査自体の自動化は進展しているものの、それに付随する準備や医師からの問い合わせなど、いまだ手作業や個別対応業務が多く残っています。

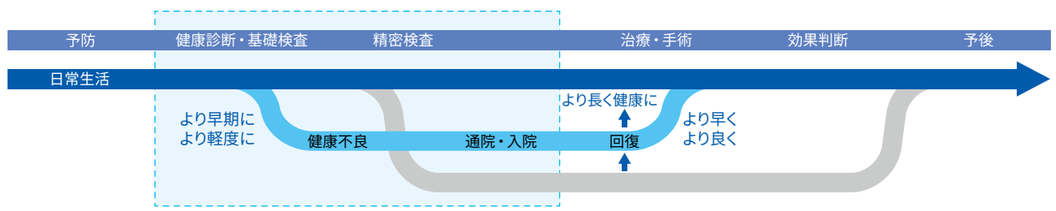
創業以来、検査の品質・生産性の向上を追求してきたシスメックスは考えます。さらに高度化するヘルスケアにおいて、完全に自動化された検査室を実現できないかと。そして、AIを駆使した検査結果解析システムの実現などにより、最適な診断をサポート、検査プロセス全体を自動化・効率化し、医療従事者がより詳細なデータ解析や医師との診断連携など付加価値の高い業務に集中できる未来を目指します。

シスメックスは、ヘマトロジー分野で世界シェアNo. 1です。その膨大なタッチポイントにより知り得た医療機関のニーズ、業界屈指の解析データ、精度管理ノウハウなどを活用し、検査室の生産性を向上させ、検査技師不足という課題解決に貢献していきます。

血液学/血液凝固学における
臨床検査技師欠員率
（米国）（2022年）※2

約16.6%

※2 出典：American Society for Clinical Pathology 2022 Vacancy Survey of medical laboratories in the United States | American Journal of Clinical Pathology | Oxford Academic



患者さんに寄り添う検査の進化（負担軽減）

世界には治療満足度が低い疾患が数多くあり、その一つが認知症です。認知症は、世界的な長寿命化にともない、2050年には1.3億人が罹患すると予測※1され、その経済的損失も莫大です。一方で、研究も進んでおり、認知症のうち半数以上を占めるアルツハイマー型認知症は、脳内にアミロイドβと呼ばれる異常なタンパク質が蓄積することによって引き起こされることが分かってきました。また、その脳内変化は症状が現れる20年以上前から始まっていると考えられています。自覚症状がない早い段階で、脳内の変化を捉えることができれば、効果的な早期治療などに備えられる可能性があります。

しかし、現在の検査は、PETや脳脊髄液検査など、患者さんへの身体・精神・経済面で負担が多大です。そうした中、シスメックスは独自の高感度・高精度測定技術を活用し、微量な血液から、脳内アミロイドβの蓄積状態を測定する試薬の開発に成功しました。これにより、より多くの方に負担の少ない検査の機会を提供できる可能性があるほか、治療薬の効果的な投薬に向けた選別や治療後のモニタリングにも活用することで、患者さんのQOL向上にも資すると考えています。さらに、将来的には、健康診断などによる早期発見により、発症の抑制や遅延につなげられる可能性もあり、患者さんとその家族に加え、社会全体にも大きな価値を提供できると考えています。

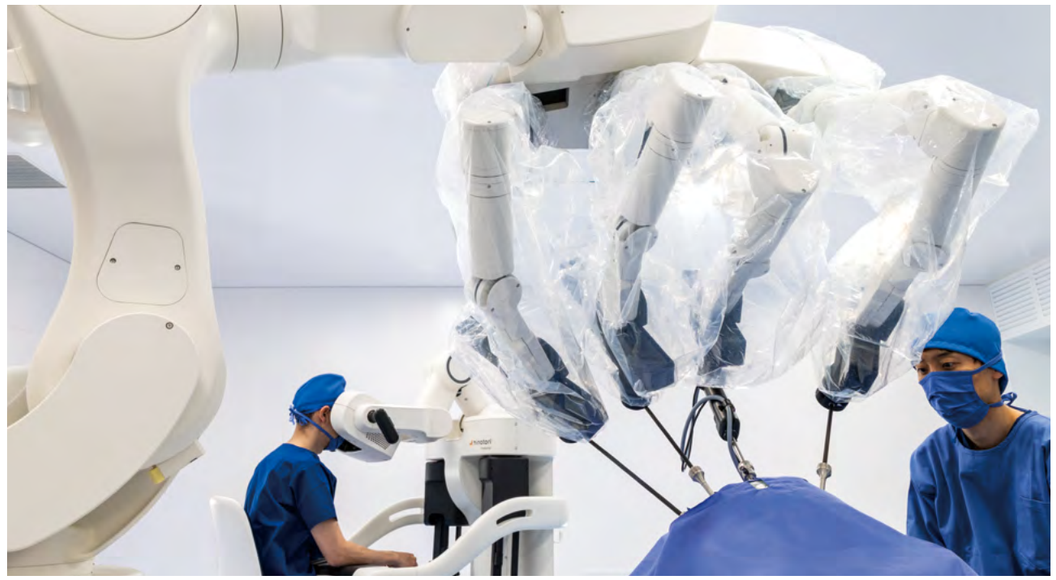
世界の認知症患者数
（2021年）※1

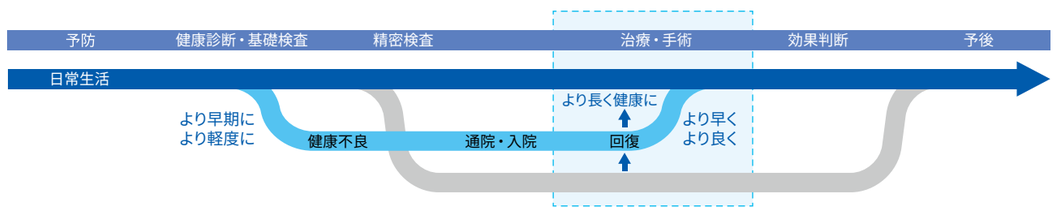
5,500万人

世界の認知症による
経済損失（2021年）※1

1兆3千億ドル

※1 出典：Global status report on the public health response to dementia. Geneva: World Health Organization; 2021.





早期回復につながる先進的医療の普及

近年、医療においては、遺伝子解析や再生細胞医療、手術支援技術など多くの進展が見られます。シスメックスは、こうした最新動向をさまざまな技術やノウハウの組み合わせにより社会実装・普及促進することで、治療成果や患者さんのQOLをさらに高めることができると考えています。

例えば、手術支援ロボット。開腹手術は、術後の回復期間が長く、患者さんの退院後の生活にも大きく影響します。それに対して、手術支援ロボットは、切開部がより小さく済むため患者さんの負担を軽減できるほか、手術の精度と安全性も向上させることができ、治療成果や患者さんのQOLの向上が図れます。さらに、長時間に及ぶ手術を行う医療従事者の負担軽減にも寄与します。

現在、シスメックスは川崎重工業株式会社と合弁で設立した株式会社メディカロイド製の手術支援ロボットのグローバル総代理店としてグルーバル展開を進めており、2024年度末までに日本とアジアで累計約1万症例の手術を支えてきました。中長期的には、遠隔での治療や指導・トレーニングの実現、限られた医師にしかできなかった高度な手法の数値化・見える化・教育コンテンツ化などによる医師の技術・知識向上を通じ、患者さんがより質の高い手術を享受できることに貢献していきます。このような手術支援サポートの拡充を通じて、患者さんが早期に復帰できる社会の実現を目指します。

手術支援ロボット導入による
入院日数削減効果※2

3.2日

※2 出典：株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパンの調査結果より算出
前立腺がん手術における開腹手術との比較

グループ CEO メッセージ

拡大し、変化するヘルスケア領域において、
シスメックスも進化し続けることで、
ヘルスケアの未来を形づくり、人々に安心を提供し続けます。

代表取締役会長 グループCEO

家次 恒

シスメックスの提供価値

生存や健康は人類の根源的な願いであり、ヘルスケアは重要な社会のインフラです。シスメックスはその中でも、医療の入り口である、検体検査領域を中核事業としています。検体検査は、各国の経済発展や医療水準の向上にともなって普及し、一定の規模になると各国の人口と密接に紐づいて市場が拡大していきます。その後、より高度な診断・治療、さらには予防が求められるという社会的傾向はこれからも変わらないでしょう。

世界人口は、新興国、発展途上国を中心に急速な成長が見込まれ、ヘルスケアおよび検体検査領域は今後も中長期的に成長・進化を続けることが予想されます。こうした中、「ヘルスケアの進化をデザインする。」というミッションを掲げるシスメックスでは、需要拡大の恩恵を享受するだけでなく、市場成長を加速し、人々の健康に寄与するヘルスケアの未来を形づくりたいと考えています。検体検査の中でも基礎的な検査であるヘマトロジー分野で圧倒的な世界シェアを取り、世界トップレベルの顧客満足度評価を得ているシスメックスには、その責務があると考えています。新興国に対しては、各国行政とも連携して医療・検査のインフラ構築をサポートし、先進国などの多様化する医療ニーズに対しては、高度な技術と専門性を背景に、一人ひとりに適した診断・治療の実現や、持続可能な医療インフラの構築を支えていきます。これにより、医療機関や患者さんに対して安心を提供し、医療の発展や人々の健やかな暮らしに貢献していきます。

進化とチャレンジの積み重ね

こうした姿の実現に向け、長期ビジョン「より良いヘルスケアジャーニーを、ともに。」および長期経営戦略では、医療格差の是正、医療・検査室の生産性向上、検査の進化、先進的医療の普及、予防・予後管理の実現といった価値を創出し、健康寿命の延伸に寄与することを目指しています。シスメックス自体の成長・進化も不可欠であり、2033年度には売上高1兆円、営業利益率20%を目標としています。

2024年度は、各戦略が順調に進捗し、業績としても全地域で増収、過去最高の売上・利益を計上し、収益性の向上などの課題についても取り組みを継続しています。新たな価値の創出に向け、私たち経営陣が為すべきは、従業員にチャレンジの場を継続的に提供することだと考えており、これが2024年度の成果にもつながったと考えています。例えば、各現地法人ではトップにローカル人材を起用し、大幅な権限委譲のもと、環境変化に対応した成長施策を自らで考え抜くとともに、その成果・課題をグローバルに共有する自立的なマネジメント体制を構築しています。シスメックスには多様なチャレンジの機会があり、今後も各従業員が能力を発揮し、成長できる環境を整えていきたいと思います。

ガバナンスの強化

ガバナンスについても進化を続けていきます。透明性があり、かつ柔軟で機動力のある経営を実行していくためには、異なる価値観、専門性、背景を有する取締役が多様な意見を組み交わすことが大切です。現在の社外取締役は、企業経営、金融、グローバル、生産技術と背景の異なるメンバーで構成され多様性も進んでいます。私は取締役会議長として、社外取締役の皆さんの活発な発言を引き出し、より長期視点かつ踏み込んだ議論を重ねていきたいと思います。

また今後は一層、株主価値を重視していきます。2025年度は役員報酬に業績連動型株式報酬制度を導入したほか、株主還元についても、連結配当性向のめどを30%から40%に変更し、累進配当を行うことを改めて宣言しました。今後も、株主の皆さまと価値を共有する経営に注力する所存です。引き続きよろしくお願いいたします。